

議題（１） 平成３０年度の事業報告について

○加曾利貝塚博物館

１ 入館状況

年度	開館日数（日）	来館者数（人）
２８年度	３０２	４３，３７４
２９年度	３０６	７１，５１０
３０年度	３０４	７７，２２２

２ 事業実績

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	加曾利貝塚博物館の施設管理業務及び加曾利貝塚縄文遺跡公園の維持管理業務 ①警備・清掃業務委託 ②草刈業務委託 ③消防用設備その他保守点検委託
	イ 施設修繕・解体工事	１ 月	博物館講堂屋上雨漏り修繕 第１・第３収蔵庫解体撤去工事
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の整理保管	通 年	資料は埋蔵文化財調査センターと共同で管理しており、相互の連携を踏まえて台帳の整理及び保管状況の確認などを随時実施している。 ※第１・第３収蔵庫の解体に伴い、平成２９年度に大半の資料を移動。旧幸町第一小学校で 930 箱、埋蔵文化財調査センターで 750 箱を保管している。
	イ 資料の貸出	通 年	他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。 ① 資料貸出 5 件 106 点 ② 写真貸出・掲載 40 件 57 点 ③ 資料館内利用 2 件 15 点
(3) 調査研究事業	ア グループ研究	通 年	加曾利E式土器に関する集成研究
	イ 個別研究	通 年	・ 農耕起源のプロセスにおける宗教的記念物の役割について ・ 集落や地域を結ぶ、もの・人の移動について、遺跡と遺構から考える ・ 実験考古学的手法および民俗学的観点からの縄文

			<p>時代の生業活動解明へのアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加曾利貝塚の立地環境についての歴史地理学的研究
	ウ 委託研究	8月～9月	イボキサゴ成分分析（日本食品分析センター、淑徳大学）
	エ 『貝塚博物館紀要』の発行	3月	<p>『貝塚博物館紀要』第45号の発行 A4判 64ページ 800部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環状貝塚論－周堤状貝塚の成立と歴史的評価－ （高梨 俊夫 加曾利貝塚博物館） ・「加曾利B式」の覚書 （菅谷 通保 埋蔵文化財調査センター） ・加曾利貝塚で多く出土するイボキサゴのうま味成分や機能性成分に関する研究 （石井 克枝 淑徳大学看護栄養学科） ・千葉県加曾利貝塚の砂層粒度分析（29年度調査） （上本 進二 神奈川災害考古学研究所） ・加曾利貝塚と坂月川と縄文の海－海水はどこまで流入したか？－ （木口 裕史 都市アイデンティティ推進課） ・加曾利E式土器資料集成研究①（千葉市内編） （佐藤 洋 加曾利貝塚博物館）
(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	<p>加曾利貝塚から縄文時代の貝塚を見る</p> <p style="text-align: right;">資料点数：268点</p>
	イ 企画展		
	「地図と写真で見る加曾利貝塚」 (企画展示スペース)	6月1日(金) ～6月30日(土)	<p>平成29年10月に特別史跡に指定された加曾利貝塚を、過去の発掘や調査・研究の歴史や新たな成果などで使われた地図資料や写真資料で振り返った。</p> <p style="text-align: right;">入館者数：5,164人</p>
夏休み子ども向け企画展「縄文人の謎にせまる」 (企画展示スペース)	7月14日(土)～ 9月2日(日)	<p>当時の平均年齢、体格、男女比、好物、住居など、子ども向けにわかりやすく縄文人の特徴を解説した。</p> <p style="text-align: right;">資料点数：30点 入館者数：9,666人</p>	

	「写真で見る加曽利貝塚の自然」 (企画展示スペース)	9月8日(土)～ 10月8日(土)	遺跡の所在する指定地内の公園において、博物館の開館当時から現在に至る間に整備された自然環境を紹介し、縄文時代の風景の中にある動植物も遺跡環境を構成するものであることをその魅力とともに紹介した。 入館者数：5,636人
	「あれもE これもEー加曽利E式土器ー (千葉市内編)」 (企画展示スペース)	10月20日(土)～ 3月3日(日)	加曽利E式を中心に、縄文時代中期後半の土器を年代を追って展示し、縄文文化における土器型式の変遷や文化の移り変わりを解説した。 資料点数：45点 入館者数：23,979人
	「特別史跡加曽利貝塚平成30年度発掘調査速報展」 (企画展示スペース)	3月16日(土)～ 5月26日(日)	平成30年8月～11月にかけて実施した特別史跡加曽利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発掘の成果を紹介した。 資料点数：22点 入館者数：27,034人
	ウ その他 縄文土偶雛	2月9日(土)～ 3月17日(日)	桃の節句に合わせ、縄文時代にちなんだひな祭り企画として各所で縄文土偶雛を展示した。 ・生涯学習センター 2月9日(土)～24日(日) ・加曽利貝塚博物館 2月16日(土)～3月17日(日) ・市役所ロビー 2月27日(水)～3月11日(月)
(5)	ア 講座・イベント		
教育普及事業	縄文ひろば	第2・第4日曜日及び夏休み期間7月21日～8月26日の土・日曜日(除外日あり)	火おこし体験、アングイン編み、貝のアクセサリーづくり、縄文服の試着体験等、縄文時代の生活を学ぶことを目的に実施した。 参加人数：延べ5,439人
	縄文土器づくり講座	【一般①】6月2日・9日・16日、7月14日の土曜日 【一般②】9月8日・15日・22日、10月20日の土曜日 【子ども】7月21日・28日、8月18日の土曜日	一般(2回)、小学5・6年生(夏休み1回)を対象とした縄文土器づくり体験。一般は粘土づくり・成形・焼成を学び、子どもは成形と焼成を学習した。 参加者：延べ176人

縄文春まつり	5月5日(土)・6日(日)	各種縄文体験、ステージプログラム、グルメ等の販売、ドローン体験イベント、移動動物園、エア遊具など。 参加人数：延べ 10,107 人
縄文時代研究講座	6月13日(水)・20日(水)・27日、12月16日(日)、1月20日(日)、2月24日(日)	第1回「環状貝塚の本質」 講師：高梨 俊夫（加曽利貝塚博物館長） 第2回「縄文海進と加曽利貝塚の時代」 講師：木口 裕史（都市アイデンティティ推進課主任主事） 第3回「日本列島の貝塚と加曽利貝塚」 講師：堀越 正行（元加曽利貝塚博物館長） 第4回「加曽利E式土器とは」 講師：加納 実（千葉県教育庁教育振興部文化財課副課長） 第5回「千葉市内出土の加曽利E式土器」 講師：佐藤 洋（加曽利貝塚博物館主任主事） 第6回「東関東の加曽利E式土器」 講師：小澤 政彦（千葉県教育庁教育振興部文化財課文化財主事） 参加人数：368 人
土偶づくり教室	7月22日・29日、8月19日の日曜日	小学3年生以上を対象とした土偶づくり教室。成形と焼成を体験。 参加人数：延べ 64 人
夏休み土器ドキ発掘体験	7月25日、8月1日・8日・15日・22日・29日の水曜日	小学3年生～中学生を対象とした発掘調査体験。博物館に隣接する体験場で疑似的な発掘を経験する。 参加人数：48 人
夏休み縄文時代教室	8月5日・12日・26日の日曜日	小学校高学年を対象とした教室。遺跡・土器・石器をテーマに座学を実施。 参加人数：21 人
縄文のくらし体験	9月17日(月・祝)・10月8日(月・祝)	復元集落周辺で縄文時代の暮らしを体験。縄文土器での煮炊き実演、石器体験など。 体験人数：延べ 226 人
石器づくり講座	11月18日(日)	中学生を対象とした石器づくり体験。黒曜石を砕き、矢じりを作成。 参加人数：18 人
縄文秋まつり	11月3日(土)・4日(日)	各種縄文体験、ステージプログラム、グルメ等の販売、発掘調査体験、移動動物園など。 参加人数：延べ 7,180 人

ナイトミュージアム	12月1日(土)	博物館の夜間開館、夜の縄文くらし体験、ナイトミュージアムトーク、星空解説会「5,000年前の夜空へ」、星空観察会、貝塚コンサート、カボチャランタン・竹灯籠の展示、グルメの販売。 参加人数：延べ1,571人
ミニイベント 「Winter Museum」	2月10日(日)	冬の加曽利貝塚の魅力を楽しむミニイベント。縄文土器で作る「焼き栗」の振る舞いや竪穴住居でのくらし体験など。 参加人数：延べ227人
骨角器づくり講座	3月16日(土)	高校生以上を対象とした骨角器づくり体験。鹿の角を加工しアクセサリーを作成。 参加人数：15人
ミニイベント「縄文くらし体験&縄文ひろば」	3月24日(日)	春の加曽利貝塚の魅力を楽しむミニイベント。縄文土器で作る「焼き栗」の振る舞いや竪穴住居でのくらし体験など。 参加人数：延べ370人
考古学者のお仕事体験&縄文あそびコーナー	土・日曜日・祝日	発掘調査体験や土偶をモチーフにしたペーパークラフト（遮光器、山形、ハート形、みみずく、かそりーぬ）体験。 参加人数：延べ7,248人
外部イベントでの啓発	4月26日(木)・27日(金) 6月9日(土) 6月10日(日) 6月30日(土) 7月15日(日) 8月4日(土) 8月18日(土) 9月15日(土) 9月29日(土) 10月6日(土)・7日(日) 10月8日(月) 10月20日(土) 10月21日(日) 10月27日(土) 11月3日(土) 〃	各所で開催されたイベントへ参加し、加曽利貝塚のPRを行った。 千葉市フェア（イオンモール幕張新都心） 千葉市子ども会交歓大会（千葉ポートパーク） 県民の日ちばワクワクフェスタ2018（幕張メッセ） 千葉県産フェア（イオン津田沼店） 朝日ハウジングプラザイベント（青葉の森展示場） 桜木小地区夏祭り（桜木小学校校庭） 加曽利貝塚×泉自然公園コラボイベント（泉自然公園） 青少年の日フェスタ（生涯学習センター） 千葉市スペシャルデー（マリスタジアム） 科学フェスタ2018（科学館） へらそうくんフェスタ（イオンモール幕張新都心） 中央区ふるさとまつり（きぼーるアトリウム） ちばモノレール祭り2018（モノレール本社） JFEまつり（フクダ電子アリーナ） 千葉湊大漁まつり（千葉ポートパーク） 桜木東部自治会まつり（自治会館ほか）

	11月4日(日) 12月2日(日)	若葉区民まつり (東京情報大学) まなびフェスタ (生涯学習センター)
イ 小学校・団体見学		
小学校	通 年	市内小学校 70 校、市外小学校 31 校が社会科見学で来場。史跡内の解説や火おこし体験を実施した。 また、加曽利貝塚至近の桜木小学校及び桜が丘特別支援学校については出前授業や現地での体験学習を行った。
	6月1日(金)・5日(火)・6日(水)・12日(火)・13日(水)・22日(金)、11月15日(木)、2月7日(木)	桜木小学校 (計 8 回) 5 年生の児童 132 人を対象に、加曽利貝塚や縄文時代に関する座学、復元集落での縄文体験などを実施した。
	11月7日(水)・13日(火)、2月2日(土)	桜が丘特別支援学校 (計 3 回) 児童 13 人を対象に、加曽利貝塚の見学や土版づくり体験を実施した
団体	通 年	平成 30 年度は計 175 件の団体見学 (小学校除く) に対応した。
ウ 講師派遣		職員が各施設に出向き加曽利貝塚について講義・講演を行った。なお、平成 29・30 年度は千葉県教育委員会主催による「千葉県まるごと加曽利貝塚イヤー」の開催により県内各地の博物館等でトピックス展やミニ展示が行われ、当館学芸員によるミュージアムトークを実施した。
	4月1日(日)	桜木小地区スポーツ団体連絡協議会 (桜木小学校)
	5月12日(土)	千葉県教育委員会 (館山市立博物館)
	5月31日(木)	幸町公民館講座 (幸町公民館)
	6月16日(土)	千葉県教育委員会 (君津市立中央図書館)
	7月7日(土)	市川市幸公民館講座 (市川市幸公民館)
	7月14日(土)	千葉県教育委員会 (千葉県立中央博物館大利根分館)
	7月21日(土)	千葉県教育委員会 (八街市郷土資料館)
	〃	千葉県教育委員会 (千葉県立中央博物館分館海の博物館)
	7月26日(木)	加曽利貝塚博物館友の会 (加曽利貝塚博物館)
	9月2日(日)	千葉県文化財保護協会 (千葉県立中央博物館)
	9月20日(木)	加曽利貝塚博物館友の会 (加曽利貝塚博物館)
	9月25日(火)	けやき倶楽部 (千葉大学)
	10月13日(土)	千葉市生涯学習センター講座 (生涯学習センター)

	11月8日(木) 11月9日(金) 11月13日(火) 11月24日(土) 12月2日(日) 12月5日(水) 〃 12月15日(土) 12月18日(火) 3月19日(火)	NPO 法人千葉自然学校 (千葉県立中央博物館) 稲浜公民館講座 (稲浜公民館) 桜が丘特別支援学校講座 (桜が丘特別支援学校) 実年大学校講座 (実年大学校) 日本ミュージアムマネジメント学会 (科学技術館) 習志野市大久保公民館 (習志野市大久保公民館) 館山市立博物館講座 (館山市立博物館) こてはし台公民館講座 (こてはし台公民館) 〃 都賀コミュニティセンター講座 (都賀コミュニティセンター)
エ 職場体験の受け入れ	11月14～16日 12月18～19日	職場体験の機会を提供した。内容は主に学芸業務(資料整理の実務など)を体験した。 市立花園中学校2年生 3人 私立昭和学園秀英中学校2年生 5人
オ 博物館実習の受け入れ	8月28日～ 9月8日	学芸員課程履修中の学生7人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、施設の維持管理、資料整理、展示など教育普及事業の補助などを行った。
カ 博物館ボランティアの活用・育成	通 年 6月27日～ 7月24日 8月2日～ 9月13日	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図った。 ・活動内容 博物館内および遺跡公園内の解説、体験学習(火おこし体験など) ・活動日時 火曜日～日曜日、館のイベント実施日などの期間 10時00分～15時00分、その他見学団体からの要請に対応 ・登録人数：62人 ・年間解説：1,258回 23,862人 下記の講座を開催し、新規に7人をボランティアに登録した。 ・基礎講座(全6回) ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。 ・専門講座(全6回) 加曽利貝塚の歴史などに関する専門的な知識の習得や体験学習・展示解説の実習を目的に加曽利貝塚博物館で実施。

(6) そ の 他	ア	千葉県博物館	5月24日(木)	総会(千葉県立中央博物館)
		協会	8月3日(金)	安房ブロック会議(館山市立博物館)
			2月1日(金)	印旛ブロック会議(成田山書道美術館)
			2月28日(木)	地域振興委員会会議(県立中央博物館)
	イ	日本博物館協会	7月4日(水)	全国博物館長会議(文部科学省)
	ウ	全国歴史民俗系 博物館協議会	7月5日(木)・ 6日(金)	年次集会(大阪歴史博物館)
			2月15日(金)	関東ブロック集会(神奈川県立歴史博物館)

○特別史跡加曽利貝塚グランドデザインの策定(文化財課)

貝塚として初めて国の特別史跡に指定された加曽利貝塚と、その周辺地域における一体的な整備活用の将来像を描いた「特別史跡加曽利貝塚グランドデザイン」を策定した。

なお、史跡指定地内に建つ既存の博物館については、指定地外の近接地(小倉浄化センター跡地)へ移転することとし、令和元年度から新たな施設整備基本計画に着手している。事業活動や展示の計画、管理運営体制など史跡の整備・活用と密接に関わることから、引き続き千葉市史跡保存整備委員会にて審議を行っていきたい。

別紙「特別史跡加曽利貝塚グランドデザインのポイント」参照。